

事前評価調書

I 事業概要																																																					
事業名	交通安全施設等整備事業費（歩道設置）																																																				
地区名	一般県道 坂上大内線																																																				
事業箇所	豊田市豊松町																																																				
事業のあらまし	<p>当該路線は、国道 301 号と豊田田野外センターを結ぶ路線である。当該箇所は豊松小学校への通学路であるが、道路幅員も狭くて歩道も設置されておらず、通学児童が危険な状態にさらされている。</p> <p>この状況を解消するため歩道を整備し、通学児童の安全な歩行空間を確保するものである。</p>																																																				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>歩道設置を行い、安全な歩行空間の確保を図る。</p> <p>【副次目標】－</p>																																																				
事業費	事業費		内訳																																																		
	2.00 億円		□工事費 1.7 億円、□用補費 0.1 億円、□その他 0.2 億円																																																		
事業期間	採択予定年度	平成 26 年度	着工予定年度	平成 27 年度	完成予定年度	平成 32 年度																																															
事業内容	歩道設置 L=180m																																																				
II 評価																																																					
①事業の必要性	1) 必要性	歩道が設置されていないため、歩行者の安全な通行空間が確保されていない。																																																			
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>通学路にもかかわらず、歩道が整備されておらず、歩行者の安全を確保するために歩道設置が必要である。</p>																																																		
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画及び実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">0.5</td> <td colspan="4">1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>							H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	工種 区分	調査・設計	←	→							用地補償			←	→					工事						←	→		事業費（億円）		0.5			1.5			
			H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																											
工種 区分	調査・設計	←	→																																																		
	用地補償			←	→																																																
	工事						←	→																																													
事業費（億円）		0.5			1.5																																																
2) 地元の合意形成	地元地区のまちづくり推進協議会より要望書が提出されるなど、地元からの整備要望の声が高く、地元合意形成が図られる環境にある。																																																				
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性は高いものとする。</p>																																																			

Ⅲ 対応方針	
事業実施	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 事業実施前後の歩行者等の安全性の変化	